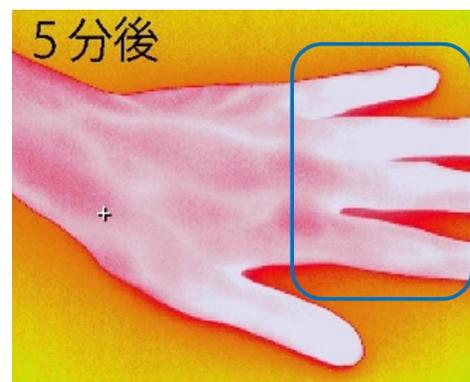
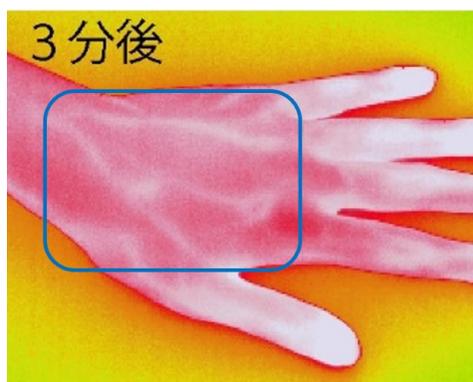
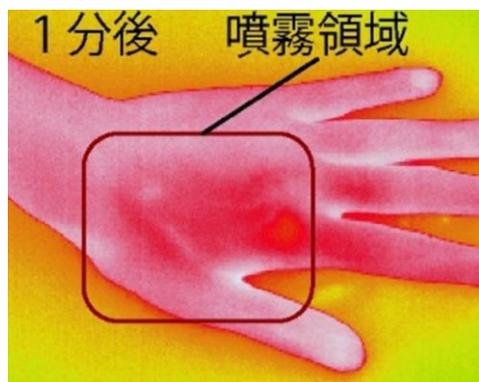
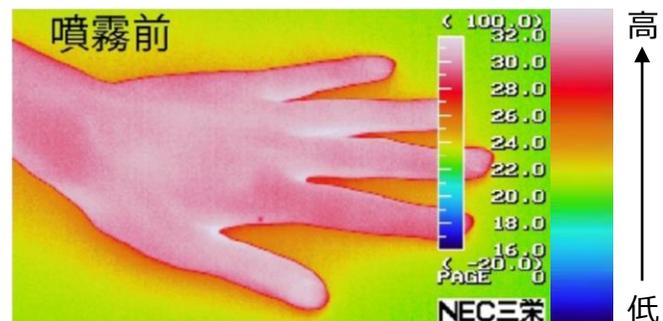


IFMC. (集積機能性ミネラル結晶体) は、血管の内側にある化学伝達物質を増加させることによって血管を広げ血液の流れを促進します。



噴霧後、中心部は気化熱のために温度が少し下がります。

血管だけが白く浮き出て温度が上昇しているのが分かります。

毛細血管にも血が流れ出し、だんだんと手の甲全体が温かくなります。

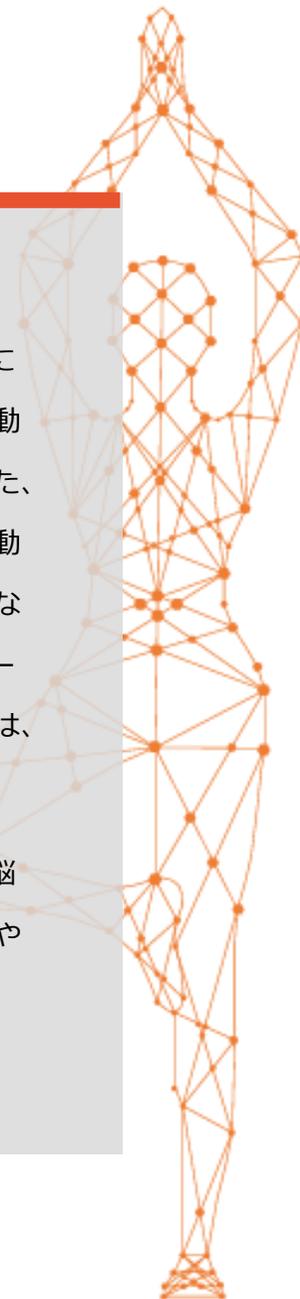
全体がほぼ真っ白になり温まっています。



クリニック F 院長
医学博士・工学博士・薬学博士
東京都市大学客員教授
藤本 幸弘

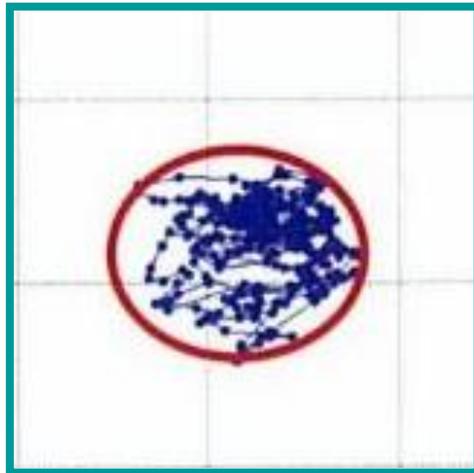
IFMC.が運動能力や姿勢制御に関わる機序は、対になって働く筋肉運動のバランス調整にあると考えている。身体が動くためには、屈筋群の働きばかりが注目されるが、同時に動いている伸筋群の伸展が運動を制御している。これらの制御は、筋紡錘や腱紡錘といった、センサーの情報を小脳の運動中枢で判断して筋肉の動きを調整するが、加齢したり、運動で筋肉が疲れた場合、屈筋伸筋ともに筋肉緊張が増し、アクセルとブレーキは入りっぱなしになる。IFMC.は化学伝達物質を介す事で、筋緊張を無くし、いわばアクセルとブレーキを外して、リラックスする働きをすと考えられる。高齢になったり、疲労した筋肉は、アクセルとブレーキが中途半端にかかった状態であると言える。

IFMC.を利用する事で、筋肉がリセットされて、熟練したスポーツ選手や、高齢者が、脳に描いているイメージ通りの筋肉運動ができるようになるために、姿勢制御や、バットやゴルフのスイングスピードが上がるなどといった効能があると考えられる。

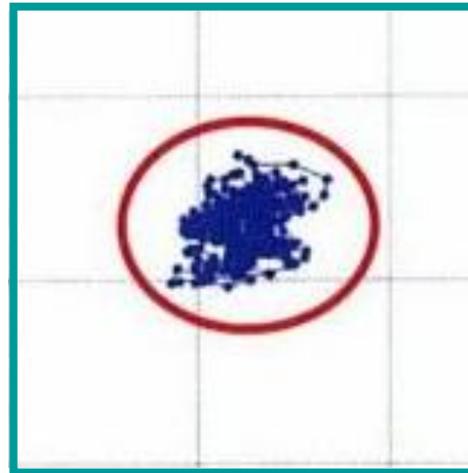


IFMC. (集積機能性ミネラル結晶体) の人体に対する作用 重心動揺計を用いたバランス感覚テスト結果

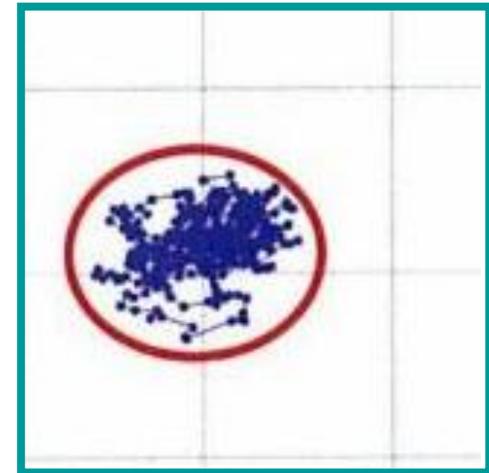
通常時



IFMC. 含浸首紐 有



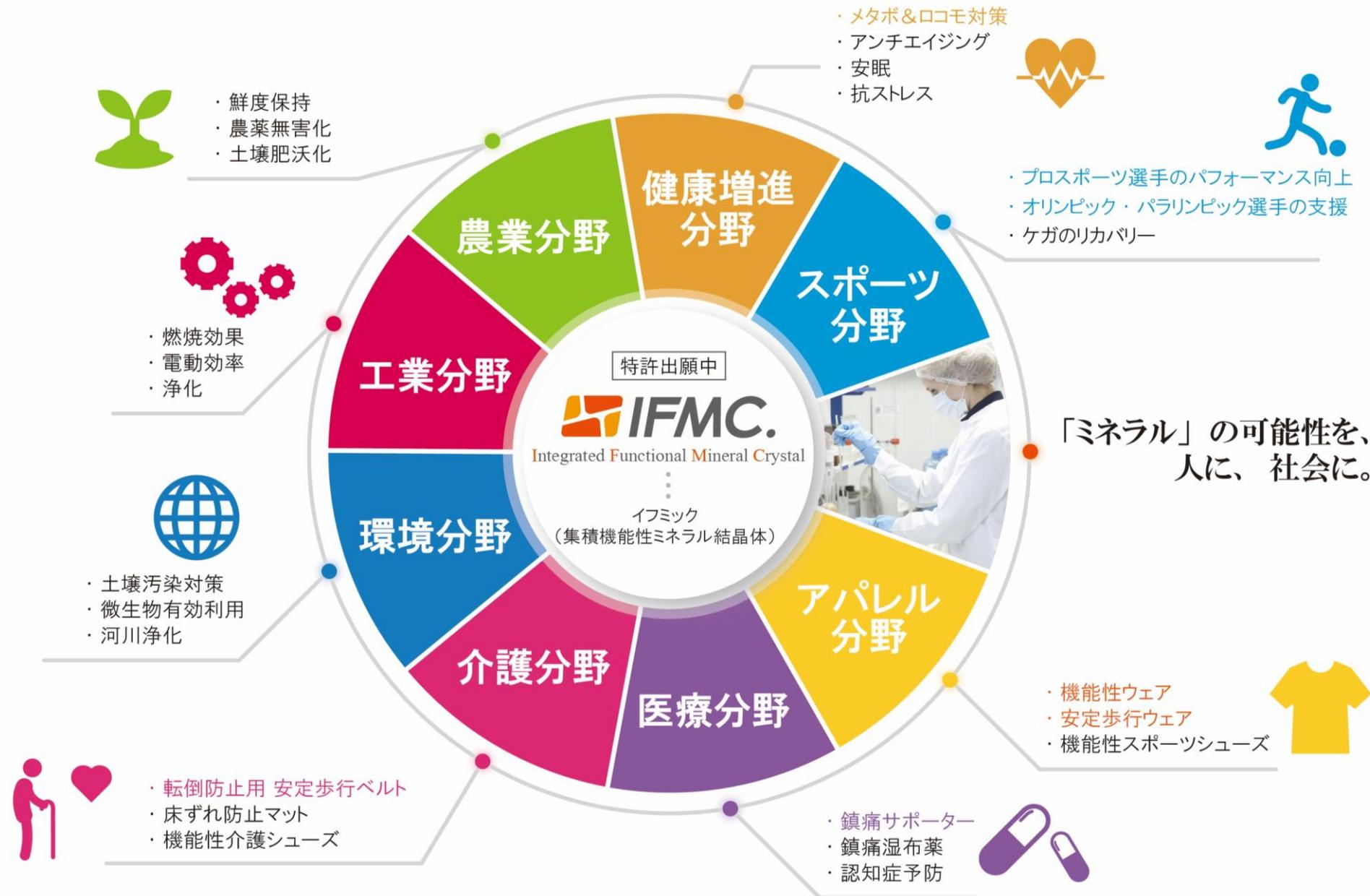
IFMC. 含浸首紐 除去



 IFMC. を含浸したひもを首にかけると重心が真ん中に集まります。



 ひもを外すと再び重心が不安定になります。



ミネラルの可能性を、人に、社会に。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標

3 すべての人に
健康と福祉を



全ての人に健康と福祉を

イフミックは昨年11月に広島県が主催したSDGsビジネスコンテストにおいて、「全ての人に健康と福祉を」にコミットしたビジネスモデルで優秀賞を受賞しました。

今後はさらにこの技術を応用してイフミックの持つ可能性を広げていきたいと考えております。